

学術情報センターニュース第31号目次

トピックス

- [「阪神・淡路大震災」のお見舞い](#)
- [WWWサーバーを開設](#)
- [電子図書館システムの試行実験 -モニターへのソフトウェアの配布-](#)
- [電子計算機棟竣工記念式典・祝賀会を開催](#)

サービス案内

- [JOIS利用料金の改定](#)
- [WWWサービスの提供開始](#)
- [「学術情報センター紀要」の公開](#)
- [「古文書目録データベース」のサービス開始](#)
- [NACSIS-IR原報請求機能\(REQUESTコマンド\)の紹介](#)
- [「学位論文索引データベース」収録期間の拡大](#)
- [学術雑誌目次速報データベース形成事業への参加](#)
- [平成6年度「学術情報データベース実態調査」概要と「データベース・ディレクトリ」の更新](#)
- [「平成7年度学術研究活動に関する調査」の実施](#)
- [平成6年度NACSIS-IRモニタリング - 報告 -](#)
- [接続ニュース](#)
- [問い合わせ先電話番号の訂正](#)
- [失効した利用者番号での継続の受付期限（6月30日）](#)
- [NACSIS-IRデータベース収納状況](#)
- [NACSIS-CATデータベース構築状況](#)

教育・研修

- [平成6年度総合目録データベース実務研修会報告](#)
- [平成6年度教育研修事業報告](#)
- [平成6年度目録所在情報サービス利用説明会報告](#)
- [平成6年度情報検索・電子メール利用説明会報告](#)
- [平成7年度教育研修事業計画](#)
- [大学・学会等が主催する利用者講習への支援事業](#)
- [平成7年度目録所在情報サービス利用説明会開催](#)
- [平成7年度情報検索・電子メール利用説明会開催](#)
- [平成7年度学術情報ネットワーク加入説明会開催](#)

講習会など

- [学術情報センター公開講演会開催](#)

その他

- [平成6年度後期会議等報告](#)
- [人事異動](#)
- [海外渡航一覧](#)
- [学術情報センター日誌](#)

「阪神・淡路大震災」のお見舞い

1月17日（火）早朝に発生した「阪神・淡路大震災」で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様に心よりお悔やみ申し上げます。

この地震において、学術情報センターのノード機関である神戸大学においても、通信が不通となる影響を受けました。その後、SINETは、1月18日（水）13時にINS64切替え、16時20分には通常の高速デジタル回線の利用が可能となりました。また、パケット交換網は19日（木）の15時頃に神戸大学職員の協力を得て利用が可能となりました。

ILLシステムについては、被害状況および対応について兵庫県・大阪府の参加大学に連絡をとりました。その結果をまとめ、NACSIS-BBS, Gopher, WWWを通じて公開すると同時に、システム参加館に対してはニュース画面で対応についてお知らせしました。また、個別の図書館とは、協議のうえセンターにて必要な処理を行いました。

今回の学術情報システムの被害に対する復旧について、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

WWWサーバーを開設

WWW編集室

1 WWWとは

WWW(World Wide Web)は1989年にCERN(スイスにある, 欧州原子核研究機構)で生まれた, 研究情報交換のための仕掛けです。インターネットの代表的なアプリケーションとして, マスメディアで取り上げられる機会も増えて, ご存知のかたも多いと思います。

学術情報センターは, これまで学術情報ネットワークの上で情報提供サービスを行ってきましたが, その学術情報ネットワークはSINETとしてインターネットとの連携を深めています。そこでインターネットを使用した情報提供を開始する最初の試みを兼ねて, 昨年12月よりWWWサーバーを開設・運用開始しましたのでお知らせします。

2 どうしたら使えるの?

もうインターネットやWWWを使用されている方は, 次のURLを呼んでみてください。

<http://www.nacsis.ac.jp>

(初めての方向のために注釈すると, URL -Uniform Resource Locator - とは, WWWの世界の電話番号のようなものです。) 万事うまくいけば, これで学術情報センター・ホームページが表示されます。

これを機会にインターネットをやってみようという方は, 次の手順をふんでください。

1. 大学はインターネットに接続していて, またその回線があなたの部屋まで来ているか。
2. ウィンドウズ付きパソコン, アップルマッキントッシュ, あるいはワークステーションを持っておられ, それが通信回線に接続されているか。
3. WWWを閲覧するための標準的なブラウザ・ソフトであるNCSA Mosaic(モザイク), あるいはそれに相当するものを入手しているか。

具体的な手順は確かに少し煩雑ですが, 最近は参考書・雑誌も多く出ているので, ぜひ頑張ってください。

3 学術WWWサーバーの特徴

いま世界には何万件ものWWWサーバーが立ち上がっていて, またその何10倍ものホームページが存在しています。学術情報センターWWWサービスは, 今のところ, その一つに過ぎません。

でも, 学術情報センターは日本を代表するデータベースサービスセンターですから, その役割に恥じない, 特徴のあるWWWサービスに発展させようと意気込んでいます。

新しいサービスをWWWで広報します

電子図書館サービスに代表される，新しいサービスの紹介やモニター募集などを，WWWで行ないます。「新着情報」メニューにご注目ください。

研究発表をします

学術情報センターの，あるいは協力研究機関の研究レポート公開を，WWWの上で行ないます。「研究開発」のボタンを押してみてください。

他のネットワーク資源の窓口になります

他のNACSISネットワークサービス（IR，Gopher，FTPなど）への接続を，WWWからできるようにします。また，SINETに参加している全国の大学・研究機関のユニークなネットワークサービスを集め，そこへのポインターを提供します。

データベースを公開します

学術情報センターのデータベースのうち，WWWの特性にあったものを順次公開して行きます。乞うご期待。

WWWをどう使えば効果的か，各地で試みられている最中です。学術情報センターでもしばらくは試行錯誤しなければなりません。ぜひスタイルを確立して，全世界から使ってもらえるようなサーバーに発展させたいと考えています。

学術情報センターニュース第31号 p.2-3（平成7年3月17日発行）

電子図書館システムの試行実験 - モニターへのソフトウェアの配布 -

学術情報センター教授 安達 淳

1 現在の状況報告

前号では、電子図書館システムの試行サービスを行なうため、モニターを募集していることをお知らせしました。その後、100人程度の方から申し込みがあり、協力をお願いしている学会とも相談し、第一弾のソフト配布を2月の半ばに行いました。

三号前にご紹介したソフトウェアの機能を向上して、より一層使い易いクライアントソフトウェアを開発していたのですが、12月の募集以来、ソフトウェアの問題点の解消や利用者環境に合わせたファイルなどの整備にかなり手間取りました。そのため、当初は1月始めには可能であろうと思っていたソフトウェアの配布が一月以上遅れてしまったのをお詫び致します。

さらに、データベースの作成と入力思ったより大変で、まだまだデータ量が少なく、現時点ではシステムの使い心地を味見するという程度ですが、もっと多くの方にモニターになっていただきたいと思っております。今鋭意努力しているデータの作成が順調に進んでくれば、1994年以降の情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会の三学会の論文や記事がおおむね検索できることとなります。また、学会以外から提供される情報も適宜載せていく方針です。

2 ソフトウェアの概要

現在配布している電子図書館システムのクライアントソフトウェアは、SUNワークステーションの上で動作するもので、

- SunOS 4.1.xのXウィンドウ (R5以上)
- Solaris 2.xのXウィンドウとOpen Windows

の環境で動くものです。

このようなワークステーションをお持ちで、インターネットを介して学術情報センターまで接続できる環境におられる方はぜひ、試用いただき、ご意見をいただきたいと存じます。

詳しいことは、MosaicなどでWWW(<http://www.nacsis.ac.jp/dl-j.html>)を参照いただければ申し込み要領などがお分かりになると思います。また、電子メールでels@nacsis.ac.jp宛にご連絡いただければ、必要な情報をお送りできます。

学術情報センターニュース第31号 p.4-5 (平成7年3月17日発行)

電子計算機棟竣工記念式典・祝賀会を開催

このたび本センターの“心臓部”ともいえる電子計算機棟が千葉分館として千葉市稲毛区に完成し、1月13日（金）に竣工記念式典および祝賀会が開催された。鉄筋コンクリート造3階建、建築面積1,449mm²、延床面積3,714mm²の電子計算機棟はコンピュータ室、ディスク室、端末室、ネットワーク室、オペレータ室、実験研究室などからなり、今後の事業展開のための設備拡充にも対応できるようになった。

記念式典には、文部省をはじめ関係機関やセンター内外関係者約130名が出席、初めに猪瀬所長の式辞の後、早野文部省大臣官房文教施設部技術課長から工事概要報告があり、続いて来賓の岡村学術国際局長、原島東京大学生産技術研究所長、三田株式会社日立製作所取締役会長の祝辞があった。さらに所長から工事関係者への感謝状の贈呈、佐藤文部省大臣官房長他からの祝電が披露された。その後、電子計算機棟の施設見学、引き続き祝賀会が開催され、祝賀会ではセンター所長の挨拶に続き、井内学術情報センター参与（元文部事務次官）、加藤放送教育開発センター所長の来賓祝辞の後、大野学術情報センター名誉教授の音頭で乾杯し、祝宴では、西垣日本電気株式会社専務取締役、杉岡富士通株式会社専務取締役、坂田日本テレコム株式会社代表取締役社長から祝辞が述べられ完成を祝った。

また、夕方には、本センターの発展に貢献されたOBの皆様にご出席いただき竣工披露を行い、一連の式典、祝賀会を閉会した。



JOIS 利用料金の改定

日本科学技術情報センター（JICST）から、「食品産業情報ファイル」の提供およびJOIS利用料金を平成7年4月1日から改定する旨の連絡がありましたので、改定後のJOIS利用料金をお知らせします。

なお、学術情報センター（NACISIS）を經由してJOISを利用している方は、今までどおり、基本料金（1,000円/月）は無料となります。

また、大学などの利用者に限ってNACISIS - IRの利用料金と同一料金で利用できたデータベースについては、「JICST科学技術文献ファイル」、「JICST速報ファイル」および「JICST科学技術研究情報ファイル」が、接続料：80円/分、オンライン出力料：20円/件、オフライン出力料：20円/件で、「MEDLINE医学文献ファイル」が、接続料：50円/分、オンライン出力料：20円/件、オフライン出力料：20円/件の利用料金で利用できます。

JOIS利用料金、JOIS利用申し込みの詳細については、JICSTの各支部・支所にお問い合わせください。

改定後のJOIS利用料金

データベース名	接続料	オンライン出力料	オフライン出力料
JICST 科学技術文献ファイル	160円/分	75円/件	90円/件
JICST 速報ファイル	160円/分	48円/件	43円/件
JICST 科学技術研究情報ファイル	160円/分	69円/件	72円/件
MEDLINE医学文献ファイル	90円/分	25円/件	49円/件
JICST 資料所蔵目録ファイル	50円/分	--	--
JICST 医中誌国内医学文献ファイル	175円/分	90円/件	94円/件
JICST 科学技術医学文献L'2Y(英文)	160円/分	68円/件	69円/件
日刊工業記事情報ファイル	187円/分	72円/件	98円/件
日経産業新聞ファイル	187円/分	72円/件	98円/件
食品産業情報ファイル	160円/分	64円/件	90円/件
大阪市都市工学情報ファイル	160円/分	64円/件	90円/件
MeSH医学用語ファイル	50円/分	--	--

IRRD道路文献ファイル

160円/分

48円/件

75円/件

原子力情報ファイル

=====

研修ファイル

=====

1. 研修ファイルは、「J I C S T 科学技術文献ファイル」, 「J I C S T・医中誌 国内内医学文献ファイル」および「M E D L I N E 医学文献ファイル」の練習用です。
2. オフライン手配料(700円/回)などその他の料金は正規の料金となります。

(共同利用第二係)

学術情報センターニュース第31号 p.8 (平成7年3月17日発行)

WWWサービスの提供開始

学術情報センターでは、既にGopherにより本センターの案内情報などを提供しておりますが、WWW（World Wide Web）でも提供を開始しました。

Gopherと同様にMosaicクライアントから利用できます。URLは<http://www.nacsis.ac.jp>です。掲載している情報は、学術情報センターの概要、情報検索サービスおよび電子メールサービスの案内、電子図書館プロジェクトの案内などありますが、今後さらに拡充いたしますのでご利用ください。

（共同利用第二係）

学術情報センターニュース第31号 p.9（平成7年3月17日発行）

「学術情報センター紀要」の公開

「学術情報センター紀要」は、本センターの研究開発活動を広くお伝えするために、1988年から刊行されているものです。さらにより多くの方にご覧いただけるようにGopherおよびオンラインにより2月27日（月）から公開しています。また、今後はWWWでの公開も予定しています。

1．概要

(1) 内容

「学術情報センター紀要」掲載論文の、標題、著者名、抄録等および本文。

(2) 収録期間、収録件数

第4号（1661年）以降、公開開始時の予定件数は、35件。

2．公開方法

(1) Gopher

本センターのGopherのトップメニューの「Bulletin of the NACISIS」からご覧になれます。URLは、<gopher://gopher.nacsis.ac.jp>です。（本紙第30号「Gopherによる案内情報の提供開始」参照）

(2) オンライン

NACISIS - IRの利用者番号をお持ちの方は、NACISIS - IRの「学術論文データベース」と同様の方法で無料でご覧になれます。呼出しは「NACISRB」で行い、検索、表示、ページイメージのファクシミリ出力が可能です。

（データベース課）

学術情報センターニュース第31号 p.9（平成7年3月17日発行）

「古文書目録データベース」のサービス開始

東京大学史料編さん所が作成する「古文書目録データベース」を同所の協力・提供を受け、NACSIS-IRによるサービスを平成7年4月1日（土）から開始します。

1．概要

(1) 収録対象

東京大学史料編さん所が所蔵する史料複本（影写本，謄写本，写本，写真帳，刊本など）に収録された古文書の目録。

(2) 収録範囲，収録件数

当初は，東大寺文書のうちの寺外所在分（東大寺図書館以外に所在する分）を収録，件数は約3,000件。東京大学史料さん所におけるデータ提供準備が整い次第，順次収録範囲の拡大を行う予定です。

(3) 収録データ項目

古文書の記載内容（文書名，年月日，差出，宛所，端裏書，書出，書止，人名，寺社名，地名，職名，件名など），古文書の形態など。古文書の記載内容については，文字列（1文字から最大5文字まで）による検索が可能です。

(4) 呼出しコマンド

K O M O N J O

2．利用方法

データベースの内容および利用方法などについては，「NACSIS-IRデータベースシート(KOMONJO)」をご覧ください。

3．利用料金

データベースを呼び出す都度・・・30円 / 回

なお，利用に係る経費は，各データベースの利用額の月毎の合計にその3%を加算した額となります。

4．その他

東大寺文書のうち，東大寺図書館所蔵分については，奈良国立文化財研究所編「東大寺文書目録（全6巻）」（同所発行），および同目録をもとに国立歴史民俗博物館においてデータベース化された「東大寺文書目録データベース」が存在します。

（問い合わせ先： 国立歴史民俗博物館 資料課情報処理係ダイヤルイン
043-486-6485）

（データベース課）

NACISIS - IR原報請求機能 (REQUESTコマンド) の紹介

センターニュースNo. 23 (1993. 3) ですでお知らせしましたNACISIS - IRからの原報請求機能 (REQUESTコマンド) について以下に紹介します。

1. 概要

REQUESTコマンドは、利用者がNACISIS - IRで検索した文献の入手 (文献複写・図書貸借) を、利用者の所属する機関の図書館に対して請求するものです。

本コマンドは、上記の図書館がNACISIS - ILL (図書館間相互貸借システム) に参加していて、かつREQUESTコマンドの受付を行っている場合に利用できます。そのため、利用の可否や利用上の注意点など、各図書館によって運用が異なることがありますので、所属機関の図書館に確認してください。

2. 利用方法

(1) REQUESTコマンド

データベースの検索中に必要な文献が見つかった場合、REQUESTコマンドを発行することにより、指定した文献の情報が図書館に送られます。

下記の例では、直前の検索集合の8番目の文献について、REQUESTコマンドを発行しています。(データベースは「雑誌記事索引データベース」)

【使用例1】

```
=====
-----
(          8)
ACCN:084006345
TITL:Chaotic Behaviors of the Current Filaments in a Model of Firing
      Wave Instability
AUTH:Kazunori Aoki // Osamu Ikezawa // Keiichi Yamamoto
CITN:Journal of the Physical Society of Japan
VOLN:53(1)      YEAR:1984.01      PAGE:p5-8
NDLN:00010826
JCLS:MC(物理学)
CLAS:MC15(理論物理学--熱力学・統計力学)
-----
.
```

```
TYPE IN COMMAND
      8/REQUEST 1.8
```

```
*** ENTER COMMENT:
```

```
***** (          1) *****
```

Kazunori Aoki // Osamu Ikezawa // Keiichi Yamamoto "Chaotic Behaviors of the Current Filaments in a Model of Firing Wave Instability"
Journal of the Physical Society of Japan
NDLJPI(084006345)

*** 1 RECORD (COPY) REQUEST -- OK?(YES/NO) : Y

*** YOUR REQUEST (1 ITEMS) BE ACCEPTED ON ILL ***

TYPE IN COMMAND
8/

=====
また、請求したい文献の書誌事項（著者名，論文名，掲載雑誌名，巻号，頁，刊行
年など）があらかじめ分かっている場合は，TSSモードからREQUESTコマン
ドを発行することによって，データベースを呼び出すことなく，文献の請求を行うこ
とができます。

【使用例 2】

=====
>> REQUEST

*** ENTER COPY OR LOAN (C/L):C

*** ENTER AUTH,TITLE:根岸正光，山田尚勇 "論文の共同執筆についての一考察"

*** ENTER CITN:学術情報センター紀要

*** ENTER VOL,PAGE,YEAR: 第5号，p.27-39，1992

*** ENTER COMMENT: 2月3日までに入手したい

***** (1) *****

根岸正光，山田尚勇 "論文の共同執筆についての一考察"
学術情報センター紀要
第5号，p.27-39，1992
REQUEST(NOACCN)

*** 1 RECORD (COPY) REQUEST -- OK?(YES/NO) : Y

*** YOUR REQUEST (1 ITEMS) BE ACCEPTED ON ILL ***

*** CONTINUE?(YES/NO) : N

>>

===== (2) CHECKREQコマンド

REQUESTコマンドで請求した文献の処理状況を確認するためのコマンドで，
TSSモードから発行します。本コマンドで図書館からの連絡事項を参照することも
可能です。

【使用例】

>> CHECKREQ

*** ILL申込状況 *** 1995-01-31 15:24 UID(D00001)

連番	ILL申込番号	状況	申込日	終了日	備考
1	準備中 Garro, A.J."Mutagenic activity in ...	95-01-31		学情大依中	
2	処理中 Okayasu, Takashi"On the instability...	95-01-23			
3	借用中 KENNER T"METHODS IN CLINICAL HEMORH...	95-01-23			
4	上林 彌彦%%[et al.]"生成形式の...	94-12-07	94-12-08	学内所あり	
5	到着 Kazunori Aoki // Osamu Ikel0.....	94-11-14	94-11-17	177 円です	

3 . 利用の詳細について

コマンドの詳細や利用できるデータベースの種類などについては別途 オンラインニュースでお知らせします。

(データベース課)

学術情報センターニュース第31号 p.11-12 (平成7年3月17日発行)

「学位論文索引データベース」収録期間の拡大

「学位論文索引データベース」は、我が国の大学等で授与された博士学位論文の題、授与者名等を収録したデータベースです。従来、本データベースの収録期間は昭和59年度以降の学位授与分からとしておりましたが、利用者の方々から過去のデータに対する要望が多いため、今年度より昭和28年度の文部省令による「学位規則」制定以降に授与された博士学位論文まで遡り、収録対象としました。

平成6年12月までに、収録対象としている博士学位のおよそ3分の1にあたる、3万件分の名簿を81大学から送付していただき、本データベースに追加登録しました。今後も大学から学位授与名簿の送付を受けた都度、追加登録する予定です。

遡及分を含めたデータベースの収録件数は以下の通りです。

収録大学数	207 大学	収録レコード数	121,134 件
-------	--------	---------	-----------

(データベース課)

学術情報センターニュース第31号 p.13 (平成7年3月17日発行)

学術雑誌目次速報データベース形成事業への参加

雑誌刊行元との共同分担入力方式により形成している学術雑誌目次速報データベースは、現在、国内の大学・短大・高専・大学共同利用機関などで刊行する学術雑誌（紀要類）の記事データを収録しています。このデータベースの形成事業への参加により、従来、十分に流通していなかった大学紀要類の記事情報を、各大学などから広く発信することができるようになりました。また、このデータベースには対象分野や収録雑誌数などの限定がないため、参加機関の増加に応じて、より網羅的なデータベースになります。

このデータベースの「データ入力説明会」を平成6年9～10月に開催しましたが、早速、多くの機関から参加申込みをいただきました。平成7年1月以降はさらに申込みが増加し、3月1日現在、115機関（210組織）が参加しています。これらの機関により、約800種類の雑誌データの作成を進めています。今後とも、さらに多くの機関の参加協力をいただき、利用価値の高いデータベースを共同で形成してゆきたいと考えます。参加ご希望の場合は、データベース課文献データベース係（TEL.03-3942-6975～6、FAX.03-3942-9398）まで申し出てください。おって、データベースの形成方法や参加方法に関する資料をお送りします。

また、このデータベースに関して、NACSIS-MAILの掲示板(BBS)に「NACSIS目次速報DBボード(CUG.SOKUHO)」を開設し、センターからのニュース、質問と回答などを掲示していますので、こちらもご利用ください。

（データベース課）

学術情報センターニュース第31号 p.13（平成7年3月17日発行）

平成6年度「学術情報データベース実態調査」概要と「データベース・ディレクトリ」の更新

学術情報センターでは、昭和61年度から学術研究のために研究者や大学・研究機関等が作成しているデータベースの調査を、昭和62年度からは自身のコンピュータを用いてデータベースの検索サービスを行っている大学・研究機関等の調査を行っています。

本年度は＜国立試験研究機関＞，＜公立試験研究機関＞，＜特殊法人の研究所＞，＜学術研究法人＞にも調査を拡大し、平成6年6月23日～8月31日に実施しました。概要は次のとおりです。

なお、本調査の詳細な分析報告は、平成6年度「学術情報データベース実態調査報告書」として3月1日に刊行しました。

1. 調査票対象および回収状況

区分	国立大学	公立大学	私立大学	大学共同利用機関	文部省文化庁施設等機関	短期大学 高専	大学等 小計
対象数	99	48	406	17	14	542	1,126
調査票	796	54	472	167	61	60	1,610
調査票B	118	13	118	15	5	26	295
調査票C	355	14	158	85	32	27	671

区分	国立試験研究機関	公立試験研究機関	特殊法人の研究所	学術研究法人	研究所等小計	合計
対象数	96	214	19	228	557	1,683
調査票A	23	38	16	36	113	1,723
調査票B	9	7	2	4	32	327
調査票C	13	25	6	22	66	737

- 調査票A：研究者や大学・研究機関等で作成されているデータベースに関する調査
- 調査票B：データベースサービスを行っている大学・研究機関等に関する調査
- 調査票C：大学・研究機関等でサービスを行っているデータベースの個別調査

放送大学は国立大学に含めた。

作成されているデータベース数は、大学等では昨年に比べ著しく（昨年82件，今年246件）伸びています。特に国立大学，私立大学で大きく伸びています。

データベースサービス機関数，サービスデータベース数は，大学等では昨年並みの伸び（B：53件，C：103件）となっています。

2．データベース作成状況（調査票Aに基づく）

（1）分野の傾向（主なもの）

分野	文学	法学	経済	理学	工学	農学	医学	複合領域	広領域
件数	226	23	55	157	63	31	205	63	528
割合 (%)	13.1	1.3	3.2	9.1	3.7	1.8	11.8	3.7	30.6

全体的な傾向は昨年度と同様ですが，広領域が大きく(146件)伸びています。

(2)作成データベースの公開／非公開

区分	公開可能	相談に応ずる	非公開	無回答	合計
件数	799	441	458	25	1,723
割合 (%)	46.4	25.6	26.6	1.4	100

公開可能なデータベースが昨年度に比べ大きく（247件）伸びています。

3．データベースサービス状況（調査票Bおよび調査票Cに基づく）

（1）データベースサービスを行っている機関別に見たデータベース件数

区分	国立大学	公立大学	私立大学	大学共同利用機関	文部省文化庁施設等機関	短期大学 高専	大学等 小計
件数	355	14	158	85	32	27	671
割合 (%)	48.2	1.9	21.4	11.5	4.3	3.7	91

区 分	国立試験 研究機関	公立試験 研究機関	特殊法人 の研究所	学術研究 法 人	大学等 小 計	研究所 等小計	合 計
件 数	13	25	6	22	671	66	737
割合 (%)	1.8	3.4	0.8	3.0	91	9	100

(2) サービスされているデータベースの内訳

区 分	自組織作成 図書目録除く	図書館 所蔵目録	自組織以外で 作成 (国内)	自組織以外で 作成 (国外)	合計
件 数	251	259	102	125	737
割合 (%)	34.1	35.1	13.8	17.0	100

自組織作成 (除図書目録) の増加件数の大半は、調査拡大した機関のものですが、自組織作成 (図書館所蔵目録) の増加件数の大部分は大学等のものです。

4 . 「データベース・ディレクトリ」の更新

調査の内容に基づき、「データベース・ディレクトリ」を更新し、1月30日 (月) からサービスしています。

最後に、本調査については、関係の大学・研究機関等の方々からご多忙中にもかかわらず多大なご協力を賜りました。深く感謝申し上げますとともに、今後ともより一層のご協力をお願いいたします。

(データベース課)

「平成7年度学術研究活動に関する調査」の実施

学術情報センターでは、平成5年度に実施した「学術研究活動に関する調査」の調査結果をもとに、『研究者ディレクトリ』を平成6年11月に更新しました。

今後本センターでは、研究者に最新の研究活動情報を提供できるよう、平成7年度以降年1回の調査を実施し、データベースを定期的に更新していく予定です。関係の事務局および研究者の方には、ご理解とご協力をお願いします。

なお、調査結果はデータベースやその他の媒体によって公開しますが、機関分の研究者データを抽出し、配布することも計画しております。

来年度の調査の実施期間および調査基準日は次のとおりです。

- 調査実施期間：平成7年5月～7月
- 調査基準日：平成7年5月1日現在

(データベース課)

学術情報センターニュース第31号 p.16 (平成7年3月17日発行)

平成6年度 NACSIS-IR モニタリング - 報告

NACSIS-IRについて、利用者の方々のご意見、ご要望を伺うために平成4年度からNACSIS-IRモニター制度を実施していますが、平成6年度は統合検索機能（複数のデータベースを同時に検索する機能）の試行版の評価を中心に、以下のように実施しましたので報告します。

1. スケジュール

平成6年	9月20日（火）	モニター決定
	10月1日（土）～12月16日（金）	モニタリング実施
平成7年	1月20日（金）	報告会開催

2. モニター

応募者36人の中から、専門分野、経験等を考慮し、研究者13人、図書館職員8人、合計21人の方をお願いしました。

モニター委嘱者は以下のとおりです。（氏名の50音順、敬称略）

研究者

勝村幸博（東北大）、金鉉佑（東北科学技術短大）、久保文夫（富山大）、澤井清（宮城学院女子大）、志柿光浩（常葉学園大）、清水喜久雄（大阪大）、高梨一彦（弘前大）、野口旭（専修大）、長谷川芳典（岡山大）、福井千春（中央大）、間瀬玲子（筑紫女学園短大）、山下京子（愛知学院大）、山成實（熊本大）

図書館職員

奥田正義（奈良先端科学技術大学院大）、織田裕行（京都大）、佐野広明（京都大）、菅修一（滋賀医科大）、鈴木恵津子（東京家政大）、高橋宏美（東京大）、沼澤博（京都大）、三宅恒子（豊橋技術科学大）

3. モニターからのご意見など

今回のモニタリングの主要事項である統合検索機能については、概ね高い評価を頂きましたが、(1)データベース間の重複文献を識別・排除する機能が必要、(2)データベースの選択メニューにもう一工夫ほしい、(3)検索結果の出力方法のさらなる改善、といった点について今後検討のうえ、平成7年度中に正式サービスを予定しています。

その他のご意見については、今後の事業推進の参考とさせていただきます。

モニター各位には、貴重なご意見等を頂き厚くお礼申し上げます。

（データベース課）

接続ニュース

前号以降，新たに目録所在情報サービスの参加機関となった図書館は，以下のとおりです。

(平成7年3月1日現在)

No.	機関名	接続日	No.	機関名	接続日
358	相愛大学・相愛女子短大	6.12.06	364	同朋学園大学部	7.02.06
359	清和大学	6.12.12	365	京都女子大学	7.02.06
360	尾道短期大学	7.01.17	366	上武大学	7.02.06
361	海上保安大学校	7.01.27	367	高松短期大学	7.02.09
362	白百合女子大学	7.01.27	368	神戸市立中央図書館	7.02.13
365	農林水産省農業環境 技術研究所	7.02.03	369	広島経済大学	7.02.28

この結果，参加機関数は，国立大学97，公立大学29，私立大学182，大学共同利用機関12，短期大学19，高等専門学校5，その他25，合計369となりました。

(共同利用第一係)

学術情報センターニュース第31号 p.17 (平成7年3月17日発行)

問い合わせ先電話番号の訂正

学術情報センターニュース第30号でお知らせしました千葉分館での問い合わせ先電話番号のなかで、ネットワーク管理系の電話番号に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

	(正)	(誤)
ネットワーク管理係	043-285-4921,4922	043-2854926,4927
(システム管理課)		

学術情報センターニュース第31号 p.17 (平成7年3月17日発行)

失効した利用者番号での継続の受付期限（6月30日）

本センターに直接申請した利用者で、継続期間内（平成7年2月1日から3月17日まで）に「APPLY」コマンドで継続を行わず、利用者番号を失念した場合、利用はできなくなりますが、失効した利用者番号で情報検索サービス（または電子メールシステム）に接続し、「継続の有無の問い合わせ」に応答することにより失効した利用者番号での継続を受け付けています（ただし承認までに2週間位の期間が必要ですのでご了承ください）。

失効した利用者番号での継続の受付期限は6月30日（金）です。6月30日以降は失効した利用者番号は全て削除されますので、継続の意思のある方はお早めに継続を行ってください。

なお、大型計算機センター経由で登録した利用者番号はこの方法では継続できませんので、第二センターの申請コマンドにより新規に申請してください。

（1）情報検索サービスからの継続（ボールド部を入力）

=====

（情報検索に接続する。）

継続の手続きが行われていません。継続しますか（YES,NO）?:YES

よろしいですか（YES,NO）?:YES

支払コード「A」の継続申請を受け付けました。

承認までに1～2週間かかります。

=====

注） 継続は経費区分毎になりますので、支払コードを複数登録している場合はその数だけ継続処理をする必要があります。

（2）電子メールシステムからの継続（ボールド部を入力）

=====

（電子メールシステムに接続する。）

継続の手続きが行われていません。継続しますか（YES,NO）?YES

登録されている継続可能な支払コード（A） -- |

継続する支払コード ?A -- |

継続承認書の送付方法（0=不要、1=郵送）?0

申し込みを受け付けました。承認までに1～2週間お待ちください。

=====

注） 電子メールシステム（国内メール）のみの継続の場合は、支払コードがないため、の部分が表示されません。なお、国際メール及び情報検索サービスの継続は経費区分毎になりますので、支払コードを複数登録している場合は、その数だけ継続処理をする必要があります。

（共同利用第一係）

NACISIS - IRデータベース収納状況

平成7年1月27日現在

No.	データベース名称	収納件数	収録期間
1	科学研究費補助金 研究成果概要データベース	117,108	昭和60年度～
2	学位論文索引データベース	109,953	昭和59年度～
3	学会発表データベース	184,772	昭和62年3月～
4	学術論文データベース第一系(全文) (電子関連)	2,421 (抄録)4,927	平成元年度～
5	学術論文データベース第二系 (化学関連)	13,970	昭和58年1月～
6	学術論文データベース第五系 (理学関連)	4,001	平成4年1月～
7	海外研究プロジェクト データベース	80,972	平成4年1月末現在
8	民間助成研究成果概要データベース	2,263	昭和39年度～
9	経済学文献索引データベース	108,353	昭和58年4月～
10	学会予稿集電子ファイル	131,438	1955年4月～
11	臨床症例データベース	3,900	1984年4月～
12	雑誌記事索引データベース	1,131,255	1984年1月～
13	現行法令データベース	3,726	平成6年5月末現在
14	維新史料綱要データベース	28,667	
15	木簡データベース	15,925	
16	研究者ディレクトリ	120,664	平成5年12月現在
17	データベース・ディレクトリ	1,490	平成5年8月現在
18	家政学文献索引データベース	57,276	1979年1月～

19	R A M B I O S	5,382	1983年4月～
20	化学センサーデータベース	14,650	1975年1月～
21	電気化学データベース	72,153	
22	日本独文学会文献情報データベース	12,729	1980年～
23	スラブ地域研究文献データベース	3,128	1988年～
24	文化財科学文献データベース	13,873	1879年1月～
25	化学と教育誌データベース	2,787	1977年1月～
26	Life Sciences Collection PULS Marine Biology and BioEngineering	1,384,452	1982年1月～
27	MathSci	1,601,914	1940年1月～
28	COMPENDEX PLUS	2,918,438	1976年1月～
29	Harvard Business Review	2,705	1927年1月～
30	ISTP & B	2,392,003	1982年1月～
31	EMBASE	3,302,319	1984年4月～
32	SciSearch	8,563,169	1983年1月～
33	Social SciSearch	1,505,372	1983年1月～
34	A & H Search	1,383,678	1983年1月～
35	学術雑誌目次速報データベース	2,676	
36	目録所在情報データベース (和図書)	946,048 9,991,471	
37	目録所在情報データベース (洋図書)	2,082,664 5,654,810	
38	目録所在情報データベース (和雑誌)	77,648 1,587,297	
39	目録所在情報データベース (洋雑誌)	125,412 1,119,483	
40	科学技術関係欧文会議録	40,096	昭和60年4月～

データベース

41	アメリカン・センター図書館 総合目録データベース	8,163	平成5年10月末現在
42	JPMARC	1,683,127	1868年1月～
43	LCMARC(Books)	3,767,967	1968年1月～
44	LCMARC(Serials)	642,014	1973年1月～
45	大型コレクションディレクトリ	479	1978年4月～
46	学術関係会議等開催情報 (日本学術会議編)	14,117	1991年4月～
47	学協会集会スケジュール (日本工学会編)	3,724	1992年7月～

(注) No.36～39のデータベースの上段は書誌件数，下段は所蔵件数。

(システム業務係)

学術情報センターニュース第31号 p.19 (平成7年3月17日発行)

NACISIS - CATデータベース構築状況

平成7年1月27日現在

データベース名称	収納件数	備考(収録期間等)
和図書	書誌 970,124	
所蔵	0,415,302	
総合目録	書誌 1,353,790	
洋図書	書誌(遡及) 742,189	
所蔵	5,720,349	
和雑誌	書誌 78,216	
所蔵	1,595,549	
洋雑誌	書誌 125,868	
所蔵	1,121,739	
著者名典拠	766,372	
統一書名典拠	6,040	
和雑誌変遷マップ	8,683	
洋雑誌変遷マップ	12,885	
参照	洋図書書誌 4,543,988	1968年1月～1994年12月
	洋雑誌書誌 642,014	1973年1月～1994年12月
	LC/MARC 非文字書誌 268,147	1973年1月～1993年7月
	洋書著者名典拠 2,725,315	1977年1月～1994年12月
	洋書統一書名典拠 152,999	1977年1月～1994年12月
ア	和図書書誌 1,690,559	1948年1月～1995年1月
	JP/MARC 和雑誌書誌 91,764	1968年8月～1994年3月
イ	和書著者名典拠 327,561	

UK / MARC	洋図書書誌	1,448,486	1950年1月～1995年1月
TRC / MARC	和図書書誌	389,968	1985年4月～1995年1月
GPO / MARC	洋図書書誌	367,987	1976年1月～1994年12月

(システム業務係)

学術情報センターニュース第31号 p.21 (平成7年3月17日発行)

平成6年度総合目録データベース実務研修会終了報告

平成6年度総合目録データベース実務研修会は、第1回が平成6年10月11日から10月28日まで、第2回が11月14日から12月2日までのそれぞれ3週間にわたり 学術情報センターにおいて開催しました。

この実務研修会の目的は、学術情報センターと接続する図書館における総合目録データベース構築を推進するための指導的、中核的人材を養成することで、具体的には当該図書館における目録業務担当者の指導をはじめ、学術情報センターと共催で実施する地域講習会の講師等を行う高度な知識と技術を修得することです。

今年度は、32大学から42名の申込があり、各回定員の12名の研修員を選考し、下記の方々が、実務研修会の全課程を無事修了しました。これにより、学術情報センターが主催する実務研修会の昭和61年度からの修了者数は255名になります。修了された方々の今後の活躍が大いに期待されます。



平成6年度総合目録データベース実務研修会修了者名簿

第 1 回			第 2 回		
氏 名	所 属 大 学		氏 名	所 属 大 学	
田 中 美智子	福井大学		鹿 内 一 郎	小樽商科大学	
佐々木 光 子	北海道大学		金 森 孝 之	兵庫教育大学	
篠 栗 伸 一	神戸大学		金 子 弘 康	宮崎医科大学	

山森	本脇	淳ち	一か	筑波大学	高福	岡島	秀利	子夫	東京学芸大学
森井	脇上	ち久	か宏	北大学	江成	見田	利伸	夫子	京都大学
鈴合	上木	久史	子一	九州大学	渡宮	利本	和美	則子	山口大学
谷川	田口	史晃	子一	金沢大学	布仙	施波	知子	行子	熊本大学
森川	森口	晃康	子一	東京大学	堀	口	英百	百合	東京工業大学
金丸	森丸	静一	子一	福島大学			裕	行子	東洋大学
		明彦	郎彦	一橋大学				裕	東京大学
				鹿屋体育大学				裕	愛媛大学
				長崎大学				裕	鹿児島大学

=====

(研修課)

学術情報センターニュース第31号 p.22 (平成7年3月17日発行)

平成6年度教育研修事業報告

平成6年度の教育・研修事業は、以下のとおり実施しました。

研修事業

講習会等の種類	会場	回数	開催期間	受講者
情報ネットワーク担当 職員研修 (ネットワーク入門) (文部省共催)	学術情報センター 他	1	6.9.5(月)~9.9(金)	40名
		2	6.12.12(月)~12.16(金)	40名
	小	計		80名
情報ネットワーク担当 職員研修 (ネットワーク管理) (文部省共催)	学術情報センター 他	1	7.1.10(火)~1.13(金)	12名
		2	7.1.24(火)~1.27(金)	12名
	小	計		24名
総合目録データベース 実務研修会	学術情報センター	1	6.10.11(火)~10.28(金)	12名
		2	6.11.14(月)~12.2(金)	12名
	小	計		24名
目録システム講習会	学術情報センター	1	6.5.23(月)~5.27(金)	28名
		2	6.6.20(月)~6.24(金)	28名
		3	6.7.18(月)~7.22(金)	28名
		4	6.9.26(月)~9.30(金)	28名
		5	6.10.17(月)~10.21(金)	28名
		6	6.11.28(月)~12.2(金)	28名
		臨時回	6.11.14(月)~11.18(金)	28名
小	計		196名	
目録システム地域講習会 (開催大学共済)	金沢大学		6.5.23(月)~5.27(金)	11名
	九州大学	1	6.5.30(月)~6.3(金)	8名

		2	6.5.30(月) 6.6.6(月)~6.9(木)	8名
	名古屋大学		6.6.6(月)~6.10(金)	16名
	熊本大学		6.6.20(月)~6.24(金)	10名
	北海道大学		6.6.27(月)~7.1(金)	12名
	愛媛大学		6.7.4(月)~7.8(金)	10名
	鹿児島大学		6.7.11(月)~7.15(金)	15名
	東北大学		6.7.18(月)~7.22(金)	16名
	一橋大学		6.7.25(月)~7.29(金)	10名
	明治大学		6.8.1(月)~8.5(金)	10名
	大阪大学		6.8.1(月)~8.5(金)	8名
	岡山大学		6.8.8(月)~8.12(金)	20名
	東京大学	1	6.9.5(月)~9.9(金)	10名
		2	6.9.5(月) 6.9.12(月)~9.16(金)	10名
	神戸大学	1	6.9.26(月)~9.30(金)	12名
		2	6.9.26(月) 6.10.3(月)~10.6(木)	13名
	広島大学		6.9.26(月)~9.30(金)	20名
	京都大学		6.10.3(月)~10.7(金)	10名
	小計			229名
I L Lシステム講習会	学術情報センター	1	6.6.6(月)~6.8(水)	27名
		2	6.7.6(水)~7.8(金)	28名
		3	6.10.4(火)~10.6(木)	28名
		4	6.11.7(月)~11.9(水)	28名

		5	6.12.7(水)~12.9(金)	26名
	小	計		137名
I L Lシステム地域講習会 (開催大学共催)	名古屋大学		6.6.13(月)~6.15(水)	12名
	東京学芸大学		6.9.12(月)~9.14(水)	10名
	広島大学		6.9.27(火)~9.29(木)	12名
	東京大学		6.11.28(月)~11.30(水)	10名
	京都大学		6.12.5(月)~12.7(水)	10名
	小	計		54名
NACSIS-IR講習会 (基礎コース1)	学術情報センター	1	6.6.13(月)	27名
		2	6.6.14(火)	28名
		3	6.10.24(月)	28名
		4	6.10.25(火)	28名
		5	6.11.21(月)	28名
		6	6.11.22(火)	27名
		特別回	6.9.19(月)	1名
	小	計		167名
NACSIS-IR講習会 (基礎コース2)	学術情報センター	1	6.6.27(月)~6.28(火)	28名
		2	6.11.1(火)~11.2(水)	27名
	小	計		55名
NACSIS-IR地域講習会 (開催大学共催)	東京大学		6.7.5(火)~7.6(水)	19名
	名古屋大学		6.7.27(水)~7.28(木)	25名
	九州大学		6.7.27(水)~7.28(木)	11名
	徳島大学		6.8.2(火)~8.3(水)	22名
	岡山大学		6.8.4(木)~8.5(金)	20名

	福島大学		6. 8.30 (火) ~ 8.31 (水)	19名
	神戸大学		6.8.30 (火) ~ 8.31 (水)	30名
	立命館大学		6.9.1 (木) ~ 9.2 (金)	24名
	北海道大学		6.9.20 (火) ~ 9.21 (水)	25名
	新潟大学		6.10.18 (火) ~ 10.19 (水)	20名
	金沢大学		6.10.20 (木) ~ 10.21 (金)	30名
	小	計		245名
電子メールシステム 講習会 (基礎コース1)	学術情報センター	1	6. 6.15 (水)	28名
		2	6. 9.13 (火)	27名
		3	6.10.27 (木)	26名
	小	計		81名
電子メールシステム (応用コース2)	学術情報センター	1	6.11.24 (木) ~ 11.25 (金)	26名
	小	計		26名
	合	計		1318名

NACSIS-IR 基礎コース1特別回は、ストックホルム大学のクルト・フランソン氏が受講。

大学等主催講習会への支援

講習会等の種類	会場	開催期間	受講者
目録システム講習会	京都大学	6.6.13 (月) ~ 6.17 (金)	11名
	東洋大学	6.7.27 (水) ~ 7.28 (木)	30名
	慶應義塾大学	6.8.18 (木) ~ 8.19 (金)	28名
	神戸市外国語大学	6.8.23 (火) ~ 8.24 (水)	12名
NACSIS-IR講習会	東京学芸大学	6.6.29 (水)	25名
	芝浦工業大学	6.7.19 (火)	20名

島根大学	6.7.21(木)~7.22(金)	93名
長野県短期大学図書館部会	6.8.24(水)	10名
新潟大学	6.8.29(月)	19名
京都大学	6.9.19(月)~9.20(火)	30名
立命館大学	6.9.21(水)	7名
	6.11.18(金)	3名
鳴門教育大学	6.10.26(水)~10.27(木)	30名
東京学芸大学	6.12.7(水)	32名
福島大学	6.12.14(水)	11名
京都大学	7.3.16(木)~3.17(金)	28名
NACSIS-IR講習会 電子メールシステム講習会	早稲田大学 6.6.2(木)	14名
合	計	433名

学術情報センターシンポジウム

テーマ	会場	開催日	参加者
新社会基盤としての 学術情報システム	大阪：オーバルホール	10月13日(木)	122名
	東京：日仏会館ホール	11月16日(水)	459名
合	計		581名

上記の講習会・研修会の実施には、関係各位のご協力を頂きました。ここに厚くお礼申し上げます。

(研修課)

学術情報センターニュース第31号 p.23-25 (平成7年3月17日発行)

平成6年度目録所在情報サービス利用説明会報告

平成6年度に大学，短期大学，高等専門学校などの未接続図書館に目録所在情報サービスの概要を理解していただくための説明会を6回開催し，58機関，93人の参加がありました。

平成6年度目録所在情報サービス利用説明会参加機関および利用人数

		開催日別内訳					
参加機関数 および 参加人数	合計	第1回 5/13	第2回 6/17	第3回 7/15	第4回 9/9	第5回 10/7	第6回 11/11
参加機関数・	58	14	13	10	5	8	8
内							
大学	33	11	8	3	2	3	6
短大	7	0	1	4	1	1	0
高専	3	0	2	0	0	1	0
その他	15	3	2	3	2	3	2
参加人数	93	25	17	15	10	12	14

また，この他，秋田，新潟，福井，石川，奈良，和歌山，香川，高知等の各県立図書館で，目録所在情報サービスの概要や申請方法等の利用に関する広報を行った。

(共同利用第一係)

学術情報センターニュース第31号 p.26 (平成7年3月17日発行)

平成6年度情報検索・電子メ - ル利用説明会報告

これから利用者となる国公立試験研究機関や学会等の機関を対象に情報検索サービスおよび電子メ - ルシステムの概要を理解していただくための説明会を平成6年度に3回開催し、51機関、81人の参加がありました。

平成6年度情報検索・電子メ - ル利用説明会参加機関および利用人数

		開催日別内訳			
参加機関数 および 参加人数	合計	第1回 7/29	第2回 9/22	第3回 10/28	
参加機関数	51	16	17	18	
内					
試験研究機関	24	8	5	11	
学 会	12	6	4	2	
そ 他	15	2	8	5	
参加人数	81	24	27	30	

(共同利用第一係)

学術情報センターニュース第31号 p.26 (平成7年3月17日発行)

平成7年度教育研修事業計画

平成7年度の教育研修事業を次のとおり計画します。

研修会等の種類	目的	受講対象者	会場	日数	実施回数
情報ネットワーク担当職員研修 (ネットワーク入門) 〔文部省共催〕	大学等において情報ネットワークの運用管理に携わる職員に対し、情報ネットワークに関する最新かつ高度の知識及び専門的技術を習得させることにより、職員の資質の向上を図るとともに、教育・研究の進展に資することを目的とする。	各大学等の大型計算機センター、総合情報処理センター、情報処理センター等において、情報ネットワークの運用に携わっている者または携わる予定の者。	学術情報センター他	5日間	3回
情報ネットワーク担当職員研修 (ネットワーク管理) 〔文部省共催〕	同上	ネットワーク入門の終了者、または同等の知識と業務歴を有し、情報ネットワークの運用管理に	学術情報センター他	5日間	3回
総合目録データベース実務研修会	目録所在情報サービスを利用している図書館において、目録担当者の指導、講習会の講師等を行う高度な知識と技術を有する指導者の養成を目的とする。	目録所在情報サービスを利用している図書館等職員のうち目録システム講習会を修了し、かつ目録業務について十分な知識と経験を有する者。	学術情報センター他	3週間	2回
目録システム講習会 (図書コース)	目録システム業務担当職員に対し、システムの運用に関する知識・技術を習得させることを目的とする。	目録システムに接続している機関で、現在図書目録業務を担当している職員。	学術情報センター他	3日間	7回
目録システム講習会 (雑誌コース)	同上	目録システムに接続している機関で、現在雑誌目録業務を担当している職員。	学術情報センター他	3日間	3回

<p>目録システム 地域講習会 (図書コース) 〔各大学図書館 等共催〕</p>	<p>目録システム講習会の受講機会の拡大を図るため、学術情報センターで実施しているものと同等の講習会を各図書館等と共催開催し、目録業務担当職員にシステムの運用に関する知識・技術を習得させることを目的とする。</p>	<p>目録システムに接続している機関で、現在図書目録業務を担当している職員。</p>	<p>各共催大学 図書館等 3日間 19大学 24回</p>
<p>ILLシステム</p>	<p>ILL業務担当職員に対し、システムの運用方法及び端末操作等に関する知識・技術を習得させる</p>	<p>ILLシステムによる業務実施館及び学術雑誌総合目録協力館のILL業務を担当している職員。</p>	<p>学術情報 センター 2日間 5回</p>
<p>ILLシステム 地域講習会</p>	<p>ILLシステム講習会の受講機会の拡大を図るため、学術情報センターで実施しているものと同等の講習会を各図書館と共催で開催し、ILL業務担当職員にシステムの運用に関する知識・技術を習得させることを目的とする。</p>	<p>ILLシステムによる業務実施機関及び学術雑誌総合目録協力機関のILL業務を担当している職員。</p>	<p>各共催大学 図書館等 2日間 11大学 11回</p>
<p>NACSIS-IR 講習会 (基礎コース1)</p>	<p>学術情報センター情報検索サービス(NACSIS-IR)に関する知識・技術を習得させることを目的とする。</p>	<p>図書館等において代行検索業務に携わっている者及び情報検索サービス利用者で、情報検索について初心者もしくは利用歴が1年未満の者。</p>	<p>学術情報 センター 1日間 5回</p>
<p>NACSIS-IR</p>		<p>図書館等におい</p>	<p>学術情報</p>

講習会 (基礎コース2)		て代行検索業務に携わっている者及び情報検索サービス利用者で、基礎コース1の修了者または同等の情報検索サービス利用歴が1年以上3年未満の者。	センター	2日間	3回
-----------------	--	---	------	-----	----

NACSIS-IR 地域講習会 図書館等共催)	NACSIS-IR講習会の受講機会の拡大を図るため、学術情報センターで実施しているものと同等の講習会を各図書館・情報処理センター等と共催で開催し、代行検索担当者及び情報検索サービス利用者に関し、情報検索に関する知識・技術を習得させることを目的とする。	図書館等において代行検索業務に携わっている者及び情報検索サービス利用者で、情報検索について初心者もしくは利用歴が1年未満の者。	各共催大学 図書館等	2日間	11大学 11回
-------------------------------	---	---	---------------	-----	-------------

電子メール システム講習会 (基礎コース)	NACSISメールサービスに関する知識・技術を習得させることを目的とする。	NACSIS-MAILサービスを初めて利用しようとする者。	学術情報センター	1日間	3回
		基礎コースの修了者、または同等の知識を有する者。	学術情報センター	1日間	2回

実施回数は予定ですので、変更する場合があります。

「平成7年度 研修事業要項」

平成7年度の教育研修事業の実施期日、受講申込方法などの詳細については、「平成7年度研修事業要項」をご覧ください。「研修事業要項」は、大学・学会等の団体宛に、平成7年4月にお送りします。

平成7年度 学術情報センター・シンポジウム

学術情報センターの事業や研究活動に関連するテーマについて発表などを行う集会で、東京地区と関西地区で開催を予定しています。開催日時・会場・テーマなどの詳細は、本センターニュースで改めてお知らせします。

(研修課)

学術情報センターニュース第31号 p.27-28 (平成7年3月17日発行)

大学・学会等が主催する利用者講習への支援事業

学術情報センターの各種サービスに関わる紹介・講習等を，大学・学会等の内部研修や図書館の利用説明会の一環として企画される場合には，下記のような支援事業を行っていますのでご利用下さい。

1．支援内容

1. 講習用利用者番号の貸与
2. 講習用資料の提供
3. 講習カリキュラムに関する相談
4. その他（準備、講師等）

また、学術情報センターの講習室を会場として利用するご相談にも応じます。

2．支援対象

1. 学術情報センター情報検索サービス（NACISIS - IR）に関するもの
2. 学術情報センター電子メールシステム（NACISIS - MAIL）に関するもの
3. 学術情報センター目録システム（NACISIS - CAT）に関するもの
4. 学術情報センターILLシステム（NACISIS - ILL）に関するもの

3．注意事項

事前に学術情報センターの担当係にご相談ください。

なお、利用者番号の貸与については、別途申請書を提出していただきます。

担当係・問い合わせ先：研修課指導係 電話03-3942-6936 FAX 03-5395-7477
(研修課)

学術情報センターニュース第31号 p.29 (平成7年3月17日発行)

平成7年度目録所在情報サービス利用説明会開催

目録所在情報サービスの概要や接続方法を理解していただくため、私立大学、短期大学、高等専門学校、文部省および文化庁の施設等機関等、国公立試験研究機関、学術研究法人、学会、都道府県・政令指定都市立等の未接続図書館（図書室等）を対象とした標記説明会を開催しますのでご案内いたします。

1. おもな内容

(1) 学術情報センターの概要、(2) 目録所在情報サービスの概要と利用方法
(3) 学術情報センターとの接続方法、(4) 利用申請方法、(5) 研修の申込方法、(6) 質疑応答、個別相談

開催日時及び申込締切

開催日時	募集開始	申込締切
第1回 6月23日(金) 13:30~16:30	4月3日(月)	6月9日(金)
第2回 7月28日(金) 13:30~16:30	"	7月14日(金)
第3回 9月22日(金) 13:30~16:30	8月1日(月)	9月8日(金)
第4回 10月27日(金) 13:30~16:30	"	10月6日(金)
第5回 12月1日(金) 13:30~16:30	"	11月10日(金)
第6回 2月23日(金) 13:30~16:30	1月8日(月)	2月9日(金)

なお、各回先着12機関とさせていただきますので、希望日を共同利用第一係まで電話(03-3942-6933)で予約(確認)のうえ、「目録所在情報サービス利用説明会参加」と明記し、(1)参加日(第○回○月○日)、(2)機関名、(3)機関の郵便番号および住所、(4)参加者の職名および氏名(3名以内)、(5)連絡先の電話番号を記入して共同利用第一係までFAX(03-3942-6797)でお申し込みください。FAXの書式例は研修事業要綱に、「利用(加入)説明会申し込みFAX送信表」を添付する予定ですのでご利用ください。

(共同利用第一係)

学術情報センターニュース第31号 p.31 (平成7年3月17日発行)

平成7年度 情報検索・電子メール利用説明会開催

平成6年度と同様に新たに情報検索サービスおよび電子メールシステムの利用者となった国立試験研究機関や学会等の機関を対象とした標記説明会を開催しますのでご案内いたします。

この説明会は本サービスの利用の普及や本センターと連絡調整などをしていただく各機関の電子計算機担当者および図書館職員，学会の事務局職員等を対象に募集いたします。

1. おもな内容

(1) 学術情報センターの概要，(2) 情報検索サービスの概要および利用方法
(3) 電子メールシステムの概要および利用方法，(4) 申請方法，(5) 接続方法，(6) 研修の申込方法

2. 開催日時および申込締切

開催日時	募集開始	申込締切
第1回 6月16日(金) 14:00～16:30	4月3日(月)	6月9日(金)
第2回 7月21日(金) 14:00～16:30	"	7月14日(金)
第3回 9月14日(木) 14:00～16:30	"	9月8日(金)
第4回 10月20日(金) 14:00～16:30	"	10月13日(金)
第5回 11月17日(金) 14:00～16:30	"	11月10日(金)

なお，各回先着12機関とさせていただきますので，希望日を共同利用第一係まで，電話(03-3942-6933)で予約(確認)のうえ，「情報検索・電子メール利用説明会参加」と明記し，(1)参加日(第○回○月○日)，(2)機関名，(3)機関の郵便番号および住所，(4)参加者の職名および氏名(2名以内)，(5)連絡先の電話番号を記入して共同利用第一係までFAX(03-3942-6797)でお申し込みください。FAXの書式例は研修事業要綱に，「利用(加入)説明会申し込みFAX送信表」を添付する予定ですのでご利用ください。

(共同利用第一係)

学術情報センターニュース第31号 p.32 (平成7年3月17日発行)

平成7年度 学術情報ネットワーク加入説明会開催

本センターの学術情報ネットワークに接続を予定している各機関のネットワーク担当者に対して、学術情報ネットワークの概要、加入方法及び利用方法を理解していただくために利用説明会を開催いたします。

この説明会は本センターの学術情報ネットワークの連絡調整などをしていただく各機関のネットワーク担当者（電子計算機担当者、図書館職員等）を対象に募集いたします。

1. おもな内容

(1) 学術情報センターの概要、(2) 学術情報ネットワークの概要 (3) 学術情報ネットワークとの接続の準備 (4) 学術情報ネットワークの加入申請手順 (5) 研修の申込方法、(6) 質疑応答、個別相談

2. 開催日時および申込締切

開催日時	募集開始	申込締切
第1回 7月7日(金) 14:00~16:30	4月3日(月)	6月23日(金)
第2回 9月8日(金) 14:00~16:30	"	8月25日(金)

なお、各回先着30機関とさせていただきますので、希望日を共同利用第一係まで電話(03-3942-6933)で予約(確認)のうえ、「学術情報ネットワーク加入説明会参加」と明記し、(1)参加日(第○回○月○日)、(2)機関名、(3)機関の郵便番号および住所、(4)参加者の職名および氏名(2名以内)、(5)連絡先の電話番号を記入して共同利用第一係までFAX(03-3942-6797)でお申し込みください。FAXの書式例は研修事業要綱に、「利用(加入)説明会申し込みFAX送信表」を添付する予定ですのでご利用ください。

(共同利用第一係)

学術情報センターニュース第31号 p.32 (平成7年3月17日発行)

学術情報センター公開講演会開催

学術情報センターでは、12月13日（火）に東京大学総合図書館において、公開講演会を開催した。講演は、研究開発部安達淳教授による「電子図書館」、アレクサンダー図書館外山良子図書館長による「アレクサンダー図書館、学術コミュニケーションセンター」についてスライド、ビデオを使って行われた。



まず、安達教授が、学術文献を全文データベースとして電子的に蓄積し、ネットワークを通じて利用者がそれを利用できる、統合的な学術情報サービスとしての電子図書館構想について、1995年度以降の事業化計画を含め、講演を行った。

次に、外山館長から、専門職としての図書館員の仕事、優れた能力を持つ図書館員を統括しつつ、ともに図書館を運営していく姿勢について、ラトガース大学での現状の説明があり、日本の図書館でも同様の状況を作り出す可能性は十分あることが示唆された。

講演の最後に、「情報スーパーハイウェイにおける平等」というタイトルのビデオが上映され、21世紀に向けて、図書館員が推進力となって情報スーパーハイウェイ構想を実現させるべきである旨のメッセージが、米国図書館協会(ALA: American Library Association)次期会長Betty J. Turock博士より伝えられた。

現在、もっとも注目を集めている「電子図書館」の講演と、全米の主要大学でただ一人の日本人館長の講演ということもあり、140名を越す聴衆が熱心に耳を傾けた。

（研究協力係）

学術情報センターニュース第31号 p.33（平成7年3月17日発行）

平成6年度後期会議等報告

運営協議員会

平成6年度後期の学術情報センター第23回運営協議員会は次のような審議・報告を行った。

1. 第23回(平成6年11月30日(水))於:学術情報センター小石川分館会議室
- 議事
 1. 前回は議事要録の確認について
 2. 次期所長候補適任者の推薦について
 3. 教官の人事について
 4. 学術情報センター外国人教員の任期に関する申合せ(案)について
 5. その他

評議員会

平成6年度後期の学術情報センター第19回評議員会は次のような議事について審議を行った。

1. 第19回(平成7年1月19日(木))於:学術情報センター小石川分館会議室
- 議事
 1. 前回は議事要録の確認について
 2. 次期所長候補者の選考について
 3. 教官の人事について
 4. 平成6年度事業状況報告について
 5. 平成7年度予算内示額の概要について
 6. その他

紀要編集委員会

平成6年度第1回紀要編集委員会が、平成7年2月6日(月)に開催され、次のような審議を行った。

- 審議事項
1. 学術情報センター紀要第6号発行までのスケジュールについて
 2. 査読の分担について

課金委員会

平成6年度第1回課金委員会が、平成7年2月10日(金)に開催され、次のような報告・審議を行った。

- 報告事項
1. 学術情報センター事業の概況について
 2. 平成6年度中にサービスを開始したデータベースの概要について
- 審議事項
1. 新規サービス予定データベースの利用料金について
 2. 統合検索機能提供に伴う利用料金について
 3. 海外へのFAXサービス開始に伴う利用料金について
 4. 電子計算機の西千葉移転等に伴うFAX料金の改正について

データベース委員会

平成6年度データベース委員会が、平成7年3月3日（金）に開催され、次のような報告・審議を行った。

- 報告事項
- 1．情報検索サービスについて
 - 2．データベースの作成および拡充について
 - 3．NACSIS-IRモニター制度の実施について
 - 4．大学等の研究者等提供データベースの受入状況について
 - 5．NACSIS-IR講習会実施について
- 審議事項
- 1．今後のデータベース作成・導入計画について
 - 2．平成7年度情報検索サービス計画について
 - 3．NACSIS-IRのオープンシステム対応について

学術情報センターニュース第31号 p.33-34（平成7年3月17日発行）

人事異動

発令年月日 (採用)	氏名	官職名	旧官職名
7.1.1	木藤 淳子	事業部目録情報課	国立国会図書館司書
発令年月日 (職務命令)	氏名	異動内容	官職名
7.1.1	郡司 久	千葉分館勤務	事業部
〃	鈴木 新一	〃	システム管理課課長補佐
〃	松原 康夫	〃	事業部システム管理課 システム管理係長
〃	大山 貢	〃	事業部システム管理課 システム業務係長
〃	早野 裕士	〃	事業部システム管理課 ネットワーク管理係長
〃	中尾 実	〃	事業部システム管理課 ネットワーク運用係長
〃	田島 嘉則	〃	事業部システム管理課
〃	川原井 淳	〃	事業部システム管理課
〃	内田 邦夫	〃	事業部システム管理課
〃	小林 一男	〃	事業部システム管理課
〃	永井 善一	〃	事業部システム管理課
〃	藤本 康宏	〃	事業部システム管理課

海外渡航一覧

11.23~11.27	根岸研究主幹（中華民国）
11.23~11.30	計助手，貝田国際情報専門員（中華人民共和国）
11.24~12.2	内藤研究主幹（パキスタン・イスラム共和国）
11.29~12.4	浅野教授（仏国）
12.3~12.11	根岸研究主幹，安達教授（米国）
12.8~12.15	宮澤教授（連合王国）
12.11~12.16	大山助教授（カナダ）
12.18~12.25	藤代助手（ロシア連邦）
1.21~1.25	安達教授（ベルギー王国）
1.21~1.29	小野教授（スイス）
1.25~2.2	井上研究開発部長（米国）
2.8~2.19	宮澤教授，神門助手（連合王国）
2.16~2.26	井上研究開発部長（仏国，連合王国，オランダ王国）

学術情報センター日誌

〔平成6年11月2日～平成7年3月9日〕

- 11. 2 インドネシア共和国 教育文化省高等教育総局Mr.F.B.MEWENKAN来訪
- 11. 11 ドイツ連邦共和国 ミュンヘン工科大学Prof.Rudolf BAYER,
図書館情報大学増永良文教授来訪
- 11. 15 連合王国 The British Library Document Supply Centre
Ms.Linda EMPRINGHAM,Mr.Bob PICKERING,
ブリティッシュカウンシル高木和子氏来訪
- 11. 28 第6回目録システム講習会 ～12.2
- 12. 7 第4回ILLシステム講習会 ～9
- 12. 7 大韓民国 韓国産業技術情報院KWON Choong Hwan氏,
YOON Chongmin氏来訪
- 12. 9 大韓民国 延世大学校Prof.Byung Mock RHEE,
韓国国会図書館Mr.Pil- jae LEE,
駿河台大学Prof.KIM Yong Won来訪
- 12. 12 情報ネットワーク担当職員研修(ネットワーク入門2)～16
- 12. 3 公開講演会(東京大学附属図書館)
- 12. 13 米国 ラトガース大学アレキサンダー図書館 外山良子館長来訪
- 12. 14 大韓民国 釜山国立大学図書館Mr.Ik-bong YU,Ms.Su-hyun LEE,
Ms.Nam-kyung LEE, Mr.Jong-sung KIM来訪
- 12. 15 オーストリア応用知識研究所Mr.Christian GALINSKI来訪
- 1. 10 情報ネットワーク担当職員研修(ネットワーク管理1)～13
- 1. 13 電子計算機棟竣工記念式典・祝賀会(千葉分館)
- 1. 18 国際交流基金海外司書日本語研修生14名来訪
- 1. 19 第19回評議員会
- 1. 24 情報ネットワーク担当職員研修(ネットワーク管理2)～27
- 1. 26 国際協力事業団沖縄国際センター研修生17名来訪
- 2. 20 国際協力事業団沖縄国際センター研修生18名来訪
- 3. 8 公開講演会(国立教育会館)
- 3. 9 第24回運営協議員会

学術情報センターニュース第31号 p.36 (平成7年3月17日発行)